

フランス・パリを拠点とする、アコーのブティックホテル・コレクション
過去と現在、和と洋、時代を超えた魅力と現代的な心地好さが交差する、
21世紀にオマージュされた開拓使時代の邸宅

「ホテル創成札幌 Mギャラリー」本日、1月30日（火）開業



フランス・パリを拠点とする世界最大級のホスピタリティグループ・アコー（本社：フランス、Sofitel, MGallery, Emblemsブランド担当CEO：モード・ベイリー）とサッポロ不動産開発株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：宮澤 高就）は、「ホテル創成札幌 Mギャラリー」を本日2024年1月30日（火）、開業いたしました。

「ホテル創成札幌 Mギャラリー」が位置するのは、札幌を南北に横断する創成川の東、“創成イーストエリア”です。かつては工業の中心として栄え、札幌の発展を牽引してきた歴史ある場所であり、現在は当時の風情と現代的な活気が融合し、札幌開拓の足跡を辿ることができるエリアとして人々に愛されています。

ホテルのデザインは、「21世紀に生まれ変わる開拓使時代の邸宅」をテーマに、当時の開拓者たちが見た光景を現代的に再構築しました。エントランスでは、開拓の歴史に敬意を表し、ビールの重要な原料である「ホップ」をモチーフにした立体彫刻がお客様を出迎えると共に、“Japanese rose”と呼ばれる、香水産業の創造に使用された「ハマナス」を彼らの繊細な技術への敬意を表すモチーフとして、館内のデザインに用いるなど、札幌の文明開化と、日本人の手による“日本のビール発祥の地”である創成イーストエリアの歴史のエッセンスを随所に散りばめています。

ホテル1階のレストランやバーは、“開拓使の社交場”をイメージし、デザインしました。銅製のビール釜をモチーフにつくられた暖炉が目を引くバーラウンジではサッポロビールはもちろん、北海道ワインや地酒など、厳選の一杯を提供いたします。また、レストランの内装は、この地でのビール醸造を成功させた、日本人初のビール醸造技師である中川清兵衛がビール造りを学んだドイツのブルワリーからインスピレーションを受けています。壁一面にビール瓶とLEDを埋め込んだアートウォールやアーチ形状の天井など細部にまでこだわり尽くしたデザインが、訪れた人々の感性を刺激し、忘れられないダイニング体験をご提供します。

客室は全118室で、穏やかな緑と情緒を感じられる深い紫の2つのカラーバリエーションをご用意しています。家具やテキスタイルは開拓使が外国から輸入した品々から着想を得る一方、北海道らしいポプラの木や人馬一体で発展してきた開拓の歴史など、当時の記憶を呼び起こす象徴的な日本画がアクセントを加えています。西洋の洗練された雰囲気と歴史を感じさせる和のモチーフとの調和がゆったりとした心地よさを生み出しています。

開拓の歴史をもつ札幌の過去と現在、和と洋、時代や文化が交差する「ホテル創成札幌 Mギャラリー」で、ぜひ唯一無二のひとときをお楽しみください。

オープニングセレモニー開催

開業日は午前10時より、ホテルエントランスにてオープニングセレモニーを実施しました。サッポロ不動産開発株式会社代表取締役社長 宮澤 高就は「日本国内あるいは世界中から来られるお客様に対して、唯一無二のサービスを提供する、この創成イーストエリアのシンボルとなるような施設を目指してまいります」と語り、アコー Sofitel, MGallery, Emblemsブランド担当COO マーカス・ケラーは「この素晴らしい場所にMギャラリーをつくるのは長い道のりでしたが、当ホテルが提供する施設やサービスが、札幌にとってもユニークな場所になることを信じています」と開業にあたって想いを述べました。また、札幌を代表する商業施設であるサッポロファクトリーと共に、長年多くの人に親しまれてきた前身の「ホテルクラビーサッポロ」から約9ヶ月間のフルリノベーションを経て改装されたホテルとして、さらに創成イーストエリアを盛り上げていけるよう、札幌市経済観光局 観光・MICE担当局長 青山 智則氏、東北連合町内会 会長 若林 雅教氏にもご出席を賜り、開業を記念したテープカットセレモニーが執り行われました。



入録者(左から)：

ホテル創成札幌 Mギャラリー 総支配人 北原 匡
アコー Sofitel, MGallery, Emblems ブランド担当、東南アジア、日本、韓国、太平洋地区 オペレーション部門ヴァイスプレジデントトム・メイヤー
アコー Sofitel, MGallery, Emblemsブランド担当 開発部門執行役員 ザビエル・グランジ
アコー Sofitel, MGallery, Emblemsブランド担当COO マーカス・ケラー
札幌市経済観光局 観光・MICE担当局長 青山 智則氏
東北連合町内会 会長 若林 雅教氏
サッポロ不動産開発株式会社 代表取締役社長 宮澤 高就
サッポロ不動産開発株式会社 取締役専務執行役員 福原 真弓
サッポロ不動産開発株式会社 取締役執行役員札幌事業本部長 細川 恭伸

サッポロ不動産開発株式会社 代表取締役社長 宮澤 高就 ご挨拶

「ホテル創成札幌 Mギャラリーは、世界的なホスピタリティグループであるアコーと、私どもがパートナーシップを組み、ここに訪れる日本国内あるいは世界中から来られるお客様に対して、唯一無二のサービスを提供する、この創成イーストエリアのシンボルとなるような施設を目指しております。このホテル創成札幌 Mギャラリーをはじめとし、地域の発展のために尽力していく所存でございます。引き続きのご指導、ご鞭撻、ご愛顧のほどお願い申し上げます。」

アコー Sofitel, MGallery, Emblemsブランド担当COO マーカス・ケラー ご挨拶

「ホテル創成札幌 Mギャラリーがドアを開け、いま特別なひとときを迎えました。Mギャラリーコレクションは優美なラグジュアリーを表現しています。Mは、英語でメモラブル、つまり、思い出に残ることと価値があることを表しています。そこでゲストは素晴らしい体験をするでしょう。すでに140ヶ国に199軒のホテルがあり、50以上のプロジェクトが開発中です。このプロジェクトが実現したことを非常に誇りに思います。この素晴らしい場所にMギャラリーをつくるのは長い道のりでしたが、当ホテルが提供する施設やサービスが、札幌にとってもユニークな場所になることを信じています。」

歴史的なエッセンスと現代の心地好さが融合した客室

全118室の客室は「はまなすスイート」(58㎡)「デラックス」(39㎡)「スーペリア」(29㎡)を含む計7タイプ。開拓使時代の邸宅は住まいのみならず、客人をもてなす役割も担っており、応接間としての洋室と生活のための和室が混在した和洋折衷の建築様式でした。当時の邸宅にならい、当ホテルの客室も和と洋が融合した美しさを探求。過去と現在、和と洋の異なる要素が調和することで生まれるモダンな空間です。家具やテキスタイルは、開拓使が実際に外国から輸入した品々からデザインのヒントを得ており、開拓使の事業のひとつでもあった香水の瓶をモチーフにしたペンダントライトなど、随所にフェミニンなアート性を加えたデザインが特徴です。各客室の壁には開拓当時の記憶を呼び起こす象徴として「開拓使の道のりと繁栄」や「創成川の発展」を日本画で表現しています。さらに、日本人によって本格的なビールが初めて造られた「日本のビール発祥の地」という歴史に敬意を表し、ビールの重要な原料である「ホップ」のバスソルトを各部屋にご用意しました。ヨーロッパでは「眠りのハーブ」としても知られるホップの香りを気分高まるヨーロッパ調のバスルームで楽しみながら、ゆっくりと夢の中へ溶けていく贅沢な夜をお過ごしいただけます。



ビールの醸造所をモチーフにしたレストランやバーで楽しむ新しい食体験

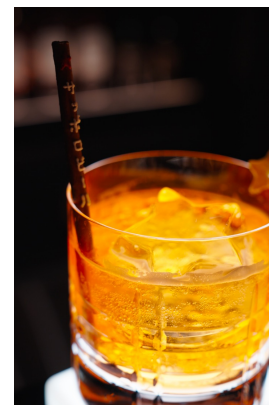
レストランのインテリアデザインは、北海道での麦酒醸造を成功させた、日本人初のビール醸造技師である中川清兵衛がビール造りを学んだドイツのブルワリーで多く見られた内装にインスピレーションを得ています。さらに、中川のビール醸造および製麦の研究の情熱を表現したレイヤーアートの装飾やビール瓶を使用したアートウォールの演出など、細部にも伝統的な醸造所の要素がしっかりと織り込まれており、感性を刺激する忘れられないダイニング体験を空間から提供いたします。



銅製のビール釜をモチーフにつくられた暖炉が目を引くバーラウンジでは、この地で生まれたサッポロビールはもちろん、北海道ワインや地酒など、厳選の一杯を提供いたします。ゆらめく暖炉の炎を眺めながらくつろぐ空間で極上の一杯をお楽しみください。



レストランとバーでは、シグネチャーカクテルとして、北海道の開拓使のシンボルであった五稜星とその元となったといわれる北極星から着想を得た「創成ポラリス」を、シグネチャーディッシュとして「キノコニオンスープ」をお召し上がりいただけます。「創成ポラリス」は、カクテルの名前の由来となる星形の氷に、北海道の大地の恵みを感じさせるハスカップのワイン、ホップフレーバーの炭酸水、グレナデンシロップとジンを加え、自然のエッセンスを凝縮しました。ホテルから北極星を眺めながら、北海道の歴史を味わうような体験をグラスに表現した一杯です。「キノコニオンスープ」は地元産のしいたけからとった出汁で煮込んだ、うまみと愛情たっぷりの和風オニオンスープです。札幌の街や自然、アクティビティを思い切り楽しんだあと、まるで自宅に帰ってきたかのような温かさを感じていただけるシンプルながらも、シェフの愛とこだわりが詰まった一品です。



特別で忘れられない体験型プログラム

Mギャラリーでは、本当に特別で忘れられない瞬間をお楽しみいただけます。各ホテルにて提供される体験型プログラムは目に映る全てが、あなたの人生に深い感動を刻むようにデザインされています。これらは一生の思い出に変わる大切な瞬間です。ホテル創成札幌 Mギャラリーでも独自のプログラムを提供開始予定です。

施設概要

名称： ホテル創成札幌 Mギャラリー
所在地： 北海道札幌市中央区北2条東3丁目 サッポロファクトリー西館
電話番号： 011-242-1111
事業主： サッポロ不動産開発株式会社
ホテル運営： アコー
開業日： 2024年1月30日
構造： 地下1階・地上6階
客室数： 118室
付帯施設： レストラン、バーラウンジ、フィットネスジム 他
インテリアデザイン： Design Studio Crow



ホテルウェブサイト： <https://all.accor.com/hotel/C082/index.ja.shtml>
公式Instagram： <https://www.instagram.com/hotelsoseisapporo>

アコーについて

フランス・パリを拠点とするアコーは、世界110ヶ国で5,400を超えるホテルやレジデンス、10,000を超えるレストラン、バー施設を展開し業界を牽引しているホスピタリティグループです。40を超えるラグジュアリー、プレミアム、ミッドスケール、エコノミーのホテルブランド、エンターテインメントやナイトライフの会場、レストランとバー、プライベートレジデンス、シェア宿泊施設、コンシェルジュサービス、コワーキングスペースなど、ホスピタリティ業界内で多様かつ完全に統合されたエコシステムを展開しております。業界内で最も急速に成長しているカテゴリーの1つであるライフスタイルホテルにおいては、数々のクリエイティビティ溢れるライフスタイルブランドを持つ ENNISMORE 社とのジョイントベンチャーにより、確固たる地位を確立しています。アコーは、他に類を見ない独自のブランドのポートフォリオと、世界中で約23万人のチームメンバーを誇っています。アコーの包括的なロイヤリティプログラムのメンバーは、毎日の暮らしの中で、様々な特典、サービス、体験へアクセスをすることが可能です。また、Accor Solidarity、RiiSE、ALL Heartist 基金などの取り組みを通じて、グループはビジネス倫理、責任あるツーリズム、持続可能な環境保護、コミュニティとのかかわり、多様性、包括性を通じて前向きな行動を推進することに焦点を当てています。1967年に設立されたアコーはフランスに本社を置き、米国のユーロネクストパリ証券取引所(ISINコード:FR0000120404)およびOTC市場(ティッカー:ACCYY)に上場しています。詳細については www.group.accor.com or follow us on [Twitter](#), [Facebook](#), [LinkedIn](#), [Instagram](#) and [TikTok](#).

サッポロ不動産開発について

サッポロ不動産開発は、1988年に設立されて以来、サッポログループのふたつの祖業の地である札幌・恵比寿で「サッポロファクトリー」「サッポロガーデンパーク」「恵比寿ガーデンプレイス」を運営しています。経営理念「私たちは、まちや社会とともに、『豊かな時間』と『豊かな空間』を創り・育みます。」のもと、「安全・安心」な環境を守り続け、「五感で感じる豊かさ」と「人と人の繋がりから生み出されるぬくもり」を感じられる「時間」と「空間」を創り出し、育みます。さらにそこで生まれる「コミュニティ」がまちに賑いを生み、何世代にもわたって引き継がれていくことを目指します。

【本件に関する報道関係者のお問い合わせ先】

ホテル創成札幌 MギャラリーPR事務局
担当：加藤 (080-7954-0847)、櫻庭 (080-3721-8953)、石曾根
Email : mgallery@ssu.co.jp